

評価対象年度	平成 25 年度
1次評価日（主幹等）	26年 3月 31日
2次評価日（課長等）	26年 5月 27日

事務事業評価表（公共施設）

1 事業名	保健センター管理事業			コード	41101	
2 担当部課	部等	健康福祉部	課等	健康推進課	作成者	森下 知佳
3 事業概要	目的体系	基本目標	ともに支えあい、健やかに暮らせるまち			
		政策	保健・医療の充実	施策	健康づくりの推進	
		予算科目	保健センター管理費	業務委託	一部委託	
		実施義務	なし（選択的事業）	国県補助	なし	
		設置条例	岡谷市保健センター条例			

●事業の内容（D0）

4 施設の概要・設置目的	*対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）	
施設の概要（簡潔に）	各種健（検）診、各種予防接種、健康教室、栄養教室等を開催する。	
目的	対象者	市民
	意図	健康保持、増進を図る。

5 施設の管理運営状況	
指定管理者	25年度指定管理料 円
施設における通常業務	各種健診、各種予防接種、健康教室、健康相談、栄養教室等
事業の実施内容	(25年度に施設で行った運営事業・自主事業など) 岡谷市保健センターの利用者が安全に利用することができるよう、維持管理、補修を実施した。 清掃業務、勤務時間外の警備保安業務、消防点検業務、自動ドア保守業務については、業務委託により実施した。
前年度の課題への対応	毎日の点検実施により、修繕箇所の早期発見に努めた。

6 施設の利用状況		*②・③はどちらかの欄に記入			
区分	23年度	24年度	25年度	26年度(予算)	
① 施設稼働率	97.1%	98.0%	98.8%		
年間開設日数（日）	243	245	244	244	
1日の開設時間（時間）	9	9	9	9	
年間利用可能時間（時間）	2,187	2,205	2,196	2,196	
年間利用実績（時間）	2,124	2,160	2,169		
② 年間利用者数（人）	25,624	25,836	23,916	24,000	
有料利用者数	0	0	0	0	
無料利用者数	25,624	25,836	23,916	24,000	
減免措置者数					
③ 年間利用件数（件）	0	0	0	0	
有料利用件数					
無料利用件数					
減免措置件数					
④ 1日あたり利用者数、件数	105.4	105.5	98.0	98.4	
⑤ 施設利用状況の説明	予防接種の種類が変更（三種混合+ポリオ→四種混合）のため施設使用人数が減った。				

7 コストの推移

* この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）

[単位：円]

区分	23年度	24年度	25年度	26年度(予算)
① 直接事業費	1,270,956	1,598,153	2,422,346	1,458,000
経常経費	1,270,956	1,424,903	1,424,846	1,458,000
臨時的経費	0	173,250	997,500	0
* 臨時的経費の説明	二階東側・南側外壁漏水修繕費			
区分	23年度	24年度	25年度	26年度(予算)
② 人件費	1,280,000	1,280,000	1,280,000	1,280,000
正規職員の人数(人)	0.16	0.16	0.16	0.16
③ 合計コスト(①+②)	2,550,956	2,878,153	3,702,346	2,738,000
前年度比		112.8%	128.6%	74.0%
財源	2,550,956	2,704,903	3,702,346	2,738,000
内訳				
一般財源	2,550,956	2,704,903	3,702,346	2,738,000
特定財源	0	173,250	0	0
* 特定財源の説明				
④ 施設使用料年間収入額	0	0	0	0
⑤ 年間減免措置額	0	0	0	0
⑥ 受益者負担割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
⑦ 活動一単位あたりコスト	100	105	113	
前年度比		105.2%	108.0%	
⑧ コストに関する補足説明				

●事業の評価(CHECK)

8 妥当性評価

* 妥当性＝行政がこの事業を行う必要性はあるか。

妥当性

高い

評価項目	はい	いいえ
① 現時点で、税金を投入して積極的に関与すべき重要な分野である。	1	
② 民間（企業、NPO、市民団体等）へ委ねることが難しく、市が行う必要がある。	1	
③ 民間（企業、NPO、市民団体等）が行うサービスと類似・競合していない。	1	
④ 国・県の事業、市が行っている他の事業と類似・重複していない。	1	
⑤ この事業の効果は広く市民に還元され、特定者の利益にはなっていない。	1	

9 有効性評価

* 有効性＝施設の利用状況（項目6／住民の満足度）は向上しているか。

有効性

標準

評価項目	はい	いいえ
① この事業が属する施策において、この事業の優先度が高い。	1	
② 社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、事業の内容に反映している。	1	
③ この事業の目的を達成する上で、現在の方法が最も効果的で低コストである。	1	
④ 施設の利用者が増加した。	1日あたり利用者数、件数	前年度比 92.9%
⑤ 施設使用料収入が増加した。	施設使用料年間収入額	前年度比 0.0%

●改善の内容(ACTION)

10 具体的な課題と改善

課題	(施設の有効活用、施設サービスの向上、利用状況の向上を図る上で、現在課題になっていること)	
	施設の老朽化に伴う維持管理・補修	
改善方法	(上記の課題をふまえて26年度以降に実施する、具体的な改善の内容)	
	職員の巡視により、破損・修繕箇所の早期発見に努めるとともに、大掛かりな補修が必要な場合には実施計画を策定していく。	
改善開始時期	平成26年4月	

●次年度の計画 (PLAN)

11 次年度の方針	継続して実施	12 施策評価による26年度の優先度 *H24年度施策評価表より転記すること	B
13 大規模修繕の予定			
予定事業費	円	予定時期	
内容			